

# 令和5年度学校自己評価システムシート（県立皆野高等学校）

目指す学校像	校訓（誠実・勤勉・協力・奉仕）の理念の下、地域の活性化に寄与し、地域社会と産業を支える人材を育成する学校
--------	--

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>主体的・対話的で深い学びを推進し、確かな学力を育成する。</li> <li>地域の人材と資源を活用し、地域と連携した特色ある学びを推進する。</li> <li>思いやりの気持ちの醸成やあいさつの励行を通し、健全な心身を育成する。</li> <li>生徒の特性に応じた進路指導を推進し、地域で活躍する人材を輩出する。</li> </ol>
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 ( 月 日 現 在 )			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<p>【現状】</p> <p>多様な生徒が入学するなかで、小規模高校の特性を生かし、全教職員が生徒に対して、少人数学習環境のもとで能力や特性に応じて丁寧に面倒見の良い学習指導を実践している。</p> <p>【課題】</p> <p>学力幅が大きく、基礎基本が身につけていない状況で入学する生徒もあり、基礎学力や学習習慣の定着と学力向上のために、生徒の学習意欲を高める授業の工夫が必要である。常に個々の生徒に寄り添った丁寧な指導法の研究、授業力の向上が必要である。</p>	生徒に学ぶ意欲を感じさせる主体的・対話的で深い学びによる参加型の授業実践や検定を有効に活用した指導を推進し、基礎学力の定着と学力の向上	<ol style="list-style-type: none"> <li>授業研究週間で授業見学と事前事後の研究協議を実施(1・2学期)</li> <li>各種検定試験に向け学習意欲を引き出し学力を向上させる(通年)</li> <li>スタディサポート(1年生7限目)や補習、自主学習の支援により、学習の個別課題の改善(通年)</li> <li>多面的評価方法の工夫改善(通年)</li> <li>生徒による授業に係る自己評価の結果を活用した授業改善(通年)</li> <li>AL型授業、ICT機器を活用し生徒の主体的に学ぶ姿勢を定着(通年)</li> <li>高校通級を通して基礎的ソーシャルスキルにより自立を促す(通年)</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>授業研究週間で、相互の授業見学研究協議で意見交換ができたか。</li> <li>検定試験指導を計画的に実施し、目標の合格者数を達成できたか。</li> <li>スタディサポート及び補習等を計画的に実施し、成績優良者の増加、不振者の減少ができたか。</li> <li>各教科で多面的に評価したか。</li> <li>生徒アンケートを実施し、評価結果を分析し参考にしたか。</li> <li>AL型授業実施、ICT機器活用等により自主的学習に取り組めたか。</li> <li>教育支援プランに沿って計画的に指導できたか。</li> </ol>			
2	<p>【現状】</p> <p>今年度から生徒募集は停止となるが、本校の生徒たちの地域での活動実績や積極的な情報発信などにより周辺地域から高い評価を得ている。</p> <p>【課題】</p> <p>コミュニティ・スクールとして地域の方々の意見を取り入れ、これまで以上に地域と共に歩む学校とする。今後の学校規模縮小にも対応するために町や地域を一層巻き込んだ活動に取り組み生徒活躍の場を創出し、地域社会と産業を支える人材育成を推進する必要がある。</p>	地域唯一の商業高校ならではの魅力ある教育活動の実施と発信	<ol style="list-style-type: none"> <li>学校活動や生徒活動を地域へ直接周知させる取組(通年)</li> <li>学校活動や生徒活動をHPやSNSを使っての発信(通年)</li> <li>地域と連携した商品開発による取組の継続、地域人材を活用した講演会等の実施(通年)</li> <li>学校運営協議会の実施(4回)と協議会での意見提言の活用(通年)</li> <li>皆野町・秩父地域、幼小中高大との連携(通年)</li> <li>秩父定住自立圏との連携(通年)</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>地域の協力を得て実施できたか。</li> <li>HP更新回数やアクセス数、新聞等へ取り上げられる回数が増加したか。</li> <li>商品開発、販売実習等を生徒が地域に出かけて実施できたか。講演会等実施できたか。</li> <li>運営協議会を4回実施し、意見提言を活用できたか。</li> <li>地域の各連携機関と連携できたか。</li> <li>秩父定住自立圏と連携できたか。</li> </ol>			
3	<p>【現状】</p> <p>教員による毎朝の立哨指導、生徒会による挨拶運動など健全な学校生活を確立する取組や継続的な基本的生活習慣に係る指導により、安心・安全で落ち着いた学びの環境が整っている。</p> <p>【課題】</p> <p>自転車事故防止等安全教育の取組。コミュニケーション能力向上等、生き生きと学校生活を過ごすための、全生徒に寄り添った支援が必要である。</p>	適切な生活習慣、規範意識に基づく豊かな人間性の伸長、健全な心身の維持を図るための心のケアの充実	<ol style="list-style-type: none"> <li>学校生活アンケートを実施(2回)</li> <li>遅刻指導の実施(通年)</li> <li>生徒による挨拶運動継続(通年)</li> <li>警察と連携した自転車利用に係る指導の実施(2回)</li> <li>土砂災害なども想定した総合防災訓練等安全教育の実施(3回)</li> <li>校内委員会を中心に、SC等関係機関や教職員・保護者との連携による教育相談の実施(通年)</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>結果をまとめ分析したか。</li> <li>遅刻延べ回数が減少したか。</li> <li>毎週、挨拶運動が実施できたか。</li> <li>自転車事故を防止できたか、講習会等での指導を実施したか。</li> <li>消防署員の指導のもと、火災・地震・土砂災害等の訓練において、的確に判断・行動できたか。</li> <li>SC等関係機関と連携して活用状況と生徒・保護者の満足度は高まったか。</li> </ol>			
4	<p>【現状】</p> <p>3年間系統的な進路指導と、生徒の能力や特性に応じた指導の継続により、希望進路を実現させている。反面、卒業後の離職者も少なくない。</p> <p>【課題】</p> <p>地域での貢献活動やインターンシップ等の体験を通し、組織的な進路指導をキャリア教育的な視点で取り組み、目標の実現をサポートする。系統的な指導により卒業後の生活を考えさせる中で、望ましい職業観を身につけさせ、地域で活躍する人材を育成していく。</p>	3年間を見通した系統的・組織的な進路指導により個々の進路意識の高揚	<ol style="list-style-type: none"> <li>学年ごとの系統的進路ガイダンスや進路指導の実施(通年)</li> <li>秩父地域雇用対策協議会と連携しインターンシップ実施(2年生)、企業見学会への参加(3年生)</li> <li>進路決定に向けた面接練習(試験前)、就職後の働き方指導の実施(通年)</li> <li>「進路の手引」改善(4月)と活用(通年)</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>学年別進路ガイダンス2回以上の実施、各種職業検査や進路対策指導が実施できたか。</li> <li>地元事業所と連携しインターンシップの実施、企業見学会へ生徒が参加したか。</li> <li>3年生がPTAや就職支援員等と面接や指導を受けて成果が出た(3年生試験前1人5回の模擬面接)</li> <li>手引きの内容を更新したか、HR等での指導で活用したか。</li> </ol>			

学 校 関 係 者 評 価		
実施日 令和 年 月 日		
学校関係者からの意見・要望・評価等		